

談論

風発

568

「独島は日本の韓国侵略の最初の犠牲物だ。解放とともに独島は再びわれらの懐に抱かれた。独島は韓国独立の象徴だ。この島に手を付ける者は全韓民族の頑強な抵抗を覚悟せよ。独島は数個の岩ではなくわが同胞の栄誉の錨だ。これを失ってどうやって独立を守るのか。日本が独島奪取を意図するものだ」



日本安全保障戦略研究所 藤井 賢二

竹島問題解決を阻むもの

10月28日付韓国政府口上書 上陸した12年には8月25日の一節とされてきた。元外務部長官の金東祚が著書『回想30年 韓日会談』(中央日報社・1986年)でそのように紹介し、竹島問題が紛糾することに韓国では引用されてきた。韓国政府が竹島に接岸施

はなく、その時に外務部長官だった卞榮泰が約10年後の63年2月8日付『韓国日報』に寄せた「独島問題に關して」の一節だったのである。文章は、この年の1月に大野伴睦自民党副総裁が「竹島共有論」を述べたとある。文章は、この年の1月に大野伴睦自民党副総裁が「竹島共有論」を述べたとある。

日本は「永遠の侵略者」

設を造ることを発表し、日韓漁業協定締結交渉が難航した96年には2月25日付『韓国日報』で、鬱陵島を視察しようとした日本の国會議員の入国を拒否した。011年には8月12日付『中央日報』で、そして当時の李明博大統領が竹島に

報道されたことに反発して書かれた。隠岐島町村会は韓国の竹島不法占拠の非を訴えて「竹島共有論」に反対する陳情を2月に行ったが、韓国でも、まったく逆の立場から「竹島共有論」に反対するこのような意見が紙面を飾ったのだ。本竹島領有の主張は朝鮮半島再侵略を意味するとい

ふじい・けんじ 島根県吉賀町出身。同県竹島問題研究会研究委員。